

# 彙報

## 真宗学会

### ◇真宗学会大会

十一月二日(火) 於 図書館講堂  
 「獲信」 本学教授 広瀬 杲氏  
 「宗教と日常性」

京都大学教授 上田閑照氏

出席||藤原学会長、松原学長、細川・幡谷各教授、寺川・臼井各助教授、江上講師、安富助手、井上特研員、秦特研生、他学生約五十余名。

### ◇修士論文中間発表会

十二月一日(水) 於 二〇四教室

「願生安楽国」 大城 邦義

「非僧非俗論考」 福永 晃淳

「自然法爾」 和田 真雄

「唯信鈔文意について」 法雲 俊孝

出席||藤原・広瀬・細川各教授、寺川助教授、小野・江上講師、安富助手、井上特研員、秦特研生、他学生約四十名。

### ◇卒業論文中間発表会

十二月八日(水) 於 二〇四教室

「愚禿の悲歎述懐」 永藁 和也

「自然のことわり」 岡本 了寿

「音曲自然と悲心器」 熊沢 融真

「悪人正機の一考察」 田中 静麿

「帰依三宝」 蓮田 善英

「顕真実の道」 村瀬 光哉

出席||藤原・広瀬・細川・幡谷各教授、寺川・臼井各助教授、本多・江上講師、安富助手、井上特研員、他学生五十名。

## 仏教学会

### ◇学術懇談会

十月八日(金) 於 図書館会議室

講師 スリランカ Vidyaaya 大学元学長

North western 大学元客員教授

ワルボラ・ラーフラ氏

講題 テーラバーダ仏教と大乘仏教

通訳 長崎法潤助教授

出席者||桜部学会長、松原学長、木越事務局長、雲井・坂東・安井各教授、白土・長崎・福島・三桐各助教授、小

川・舟橋(尚)・古田各講師、片野・木村・吉元各助手・一色・大沢各特研生、その他教職員、学生、学外聴講者約五十名。

### ◇学術懇談会

十月十九日(火) 於 図書館会議室

講師 コロンビア大学教授

アレックス・ウェイマン氏

通訳 坂東性純教授

出席者||桜部学会長、佐々木(現)・坂東各教授、長崎助教授、舟橋(尚)・古田各講師、木村・吉元各助手、一色・大沢各特研生、その他学外者、教職員、学生約三十名。

### ◇例会—研究発表—

十一月十日(水) 於 二〇四番教室

一、煩惱について

博士課程三回生 柏原信行氏

一、勝鬘經に於ける女人成仏について

博士課程三回生 龍村龍平氏

一、日本天台の一視点—不二について—

助教授 白土わか氏

出席者||桜部学会長、横超名誉教授、佐々木(現)・安井各教授、白土助教授、

小川・舟橋(尚)・古田各講師、片野・木村・吉元各助手、一色・大沢各特研究生、その他教職員、学生約四十名。

### ◇公開講演会

十二月八日(水)

於 図書館講堂

講師

京都大学教授 梶山雄一氏

講題

「梶部建」の研究——説一切有部の思想をめぐって——

出席者

梶部学会長、佐々木(現)・荷葉・坂東各教授、白土・長崎・福島・三桐

各助教授、小川・舟橋(尚)・古田各

講師、片野・木村・吉元各助手・一色・

大沢各特研究生、その他教職員、学生、

学外聴講者約百名。

なお引き続き、梶山先生を囲んで図書

館会議室において茶話会を行なった。

### ◇「仏教学セミナー」第二十四号発行

十月三十日

目次

仏教学徒の反省

奉先源清の止観思想

『大智度論』の著者について——E.

Lamotte, "Der Verfasser der

Upadeśa und seine Quellen"——

説一切有部の極微論研究

王井 威

在家戒の授受について——四分律行事鈔

導俗化方篇を中心として——

ヨーロッパにおける国際日本学術会議

管見(上)——ヨーロッパ仏教学者との関

連——

佐々木現順

〈書評・紹介〉

雲井昭善著「勝鬘經」

高崎 直道

舟橋尚哉著「初期唯識思想の研究——そ

の成立過程をめぐって——」

平井俊榮著「中国般若思想史研究——吉

蔵と三論学派——」

三桐 慈海

〈海外学界ニュース〉

韓国における「世界仏教学術会議」に出

席して

山口益博士への弔辞

桜部 建

西洋哲学会

倫理学会

西洋哲学・倫理学会例会

十一月二十日(土)午後一時

「ギリシャの旅」

於 視聴覚教室

出席者

訓覇助教授、箕浦助教授、鈴木

講師、築山助手、寛特研員、藤井特研

生ほか院生・学生五十名。視聴者一同

は古代ギリシャの世界へ誘われ、改めて

ギリシャ哲学への関心を惹起させら

れた。

### ◇西洋哲学・倫理学会講演会

十二月二日(木)午後二時半

於 第一会議室

講題 「フッサール現象学の展開」

講師 大阪女子大学助教授

常俊宗三郎氏

出席者

曉烏助教授、訓覇助教授、箕浦

助教授、鈴木講師、築山助手、寛特研

員、藤井特研究生、院生・学生約六十名。

フッサール現象学の全体的展望を通

し、新しい視点から現象学の問題提起

を示唆された。

大谷大学哲学会

### ◇第四回研究会

十二月七日(木) 午後二時半

於 第一會議室

「現今の精神病理学の流れ」

京都大学名誉教授 村上 仁氏

出席者 本学会の会長はじめ、会員並びに、大学院生・学生その他多数。新役員のもと、通算第四回目の研究会を行い、講師の先生から従来とは異った角度から有意義な提言を与えられた。

## 国史学会

◇国史学会史蹟踏査(斑鳩方面)

十一月二十八日(日) 午前八時四十分

見学史蹟 亀田神社、法隆寺、中宮寺、法輪寺、三井瓦窯跡、法起寺。

見学引率 柏原教授、佐々木(孝) 助教

授、豊島助手、参加学生若干名。

◇国史学会秋季公開講演会

十二月三日(金) 午後一時

一号館三階會議室

講師

一古文書の流転

本学教授 堅田 修氏

天明期京都の文化人

同志社大学教授 今中寛司氏

出席者 堅田教授、佐々木(孝)助教、

豊島助手、木場特研生、佐々木令信氏

(日本仏教史)、学生八十名。

## 日本仏教史学会

◇二回生研究旅行(金沢方面)

十月十五日・十六日

一日行程 京都駅集合、「戦国大名の間群像と北陸真宗」展(於名鉄丸越)

見学、金沢城跡、金沢大学史学科研究室、金沢徳市旅館泊。

二日 行程 末松廃寺跡、江戸時代商家喜多家、現地解散。

参加 大桑専任講師、学生四名。

◇三回生研究旅行(越前・美濃・飛騨方面)

十月三十日・十一月一日

一日行程 京都駅集合、一乗谷朝倉館跡、美濃白鳥長竜寺、白山神社、民宿

清右衛門泊。

二日行程 清峰寺、安国寺、飛騨国分尼寺跡、素玄寺、大雄寺、高山松井旅館

泊。

三日行程 飛騨国分寺跡、高山陣屋、照蓮寺、広瀬郷土資料館、現地解散。

参加 名畑助教、学生九名。

◇公開講演会

十二月八日(水) 午後三時

於 一号館第一會議室

親鸞の思想史研究における問題点

龍谷大学教授 森 龍吉氏

参加 藤島名誉教授、北西教授、名畑助教、大桑専任講師、佐々木(令)助手、院生・学生四十五名。

東洋史学会

東洋仏教史学会

中国文学会

◇十月二十三日(土) 午後一時半より、第三回 東洋学大学院研究発表会が行われた。発表者 題目は左記の通り。

久保田純子 修二

金代全真教の布教活動について

川上雄次 修二 赤眉の乱

。広川えい 博二 道衍伝

。若槻俊秀(本学専任講師)

市朝の隠者について

野上・平野両教授、藤島専任講師の参加を得、主催者である大学院生はもとより、学部学生の多数の参加のもとに盛会裡に終った。尚、会終了後、場所を変えて懇親会が行われた。

◇東洋学大学院研究発表会第一回・第二回例会が左記のように行われた。

- (1)十一月九日(火)午後一時より  
・女冠について 久保田純子  
・梁の武帝の捨道について 上場 正澄

- (2)十二月十四日(火)午後一時より  
・摩尼教について 白土セツ子  
・軍師祭酒の職 大森 敏文

### 国文学会

◇秋季史蹟踏査(文学部・大学院)

十月一日(金)～二日(土)

見学地||紀三井寺・和歌浦・根来寺・粉河寺・久米寺・檀原神宮など。

参加者||山本教授・仲野教授・有田専任講師・井口専任講師・入部助手・石橋助手ほか学生四十余名。

◇文芸論叢・第7号発刊

### 目次

《山谷集》覚書——土屋文明に於ける思想詩的傾向—— 有田 静昭  
「青猫以後」の前期詩篇 仲野 良一  
説話の再生産——沙石集を一例として——

芭蕉連句表現の一端 渡辺 貞磨  
李白と仏教——承前—— 永井 一彰  
詩僧少微について(一) 平野 顕照

資料紹介・松島之記——『奥の細道』周辺資料—— 河内 昭円  
山本 唯一

(A5判五十八ページ、定価五百円)

### 教育学会

◇教育学会公開講演会

題目 「子供と教育」

講師 岩井 淑氏

日時||十二月八日二時半～五時半

参加者||太田教授、大竹助教授、田中講師、他学生百六十名。

### 社会学会

◇社会学科二回生ワーク・シヨップ

十月十・十一両日

於 滋賀県和邇浜青年会館

教育学と合同で学習討論会合宿を行った。田中講師、志水講師ほか学生四十一名参加。

◇二回生ゼミ懇談会

十二月一日(水) 於 二〇八教室

高橋教授を囲み、専攻分野について話し合いをもった。学生二十名参加。

◇昭和五十一年度公開講演会

十二月十一日(土)午後二時

於 四〇五教室

京都市公害対策室長、清水武彦氏による講演「現代社会と公害」を開いた後、引き続き講師を囲んで茶話会をもった。

高橋教授以下、教員七名(講師の諸先生を含む)、学生、研究生等五十余名が参加。充実したひと時を過ごした。

### 英文学会

◇昭和五十一年度英文学会

昭和五十一年度の大谷大学英文学会が左記のような内容で開催されました。

十二月八日(水) 於 四〇六教室

あいさつ 内藤史朗教授

## 発表

「ケム河のほとり」

市橋弘道講師

「ウィリアム・ブレイクの詩」

酒井信雄講師

当日は研究室の各スタッフをはじめ諸先生、学生あわせて四十名ほどの出席を得て、盛会のうちに終了しました。

## 短期国文科

## ◇秋期文学史蹟見学

二回生A・B合同。十月十五日(金)。

飛鳥一帯の万葉遺跡を散策した。仲野教授・井口講師・入部助手の引率で学生六十余名が参加。

一回生A・B合同。十月二十七日(月)。

湖西の安曇川方面(ゆるぎの森・藤樹書院・白髭明神など)を見学した。片岡助教授・有田講師・入部助手の引率で、学生三十余名が参加した。